

いつも問題意識を持ち、 真面目な産廃処理を手がける



大澤代表取締役

株式会社大草建設

(愛知県小牧市)

小牧市の桃花台近く、交通至便な道路沿いに建ち、焼却処理施設を備え、中間処理を主体に行っている株式会社大草建設。事務所を訪ね、大澤社長にお話を伺いました。

— 創業から現在までの業務実績を教えてください。

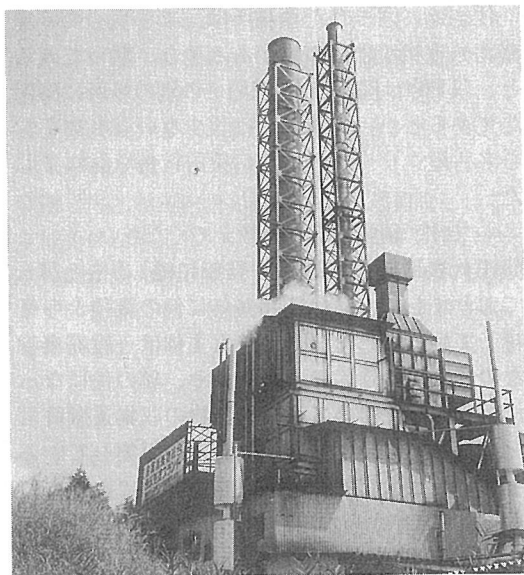
大澤社長 (以下、大澤に略) 『社名変更に伴い株式会社になったのは昭和63年です。また産業廃棄物処理を始めたのは平成に入ってからです。収集運搬の許可も取っていますが、現在のはもっぱら中間処理 (焼却) がほとんどです。あと、破碎と埋め立てをやっています。長い付き合いの方などは収集などもしていますが、それは個人宅で一般廃棄物が中心ですね。』

— 業務に関して常に問題意識を持っていらっしゃるようですが、どういった点でしょうか。

大澤『いわゆる処理価格のダンピングの問題です。今の現状は、こつこつ真面目にやっている人が馬鹿を見ているような気がします。適正価格に満たない値段で処理する一部の業者がいるから、不法投棄だっておこるのではないのでしょうか。尾張北支部の委員会でも毎月話し合いが持たれています。不法投棄などの問題にしても、交通監視員のように委託された人が反則切符を切るようなやり方が必要なのかもしれません。』

— 話は変わりますが、特に凝っているご趣味などがありましたら、お聞かせください。

大澤『ヘリコプターの操縦です。燃料が2時間半から3時間くらいしか持ちませんから、そのくらいで行ける距離を飛ぶのですが、ただ飛行するだけじゃなくて、空から航空写真を撮るんです。まだ最近始めた趣味ですが、日曜の度に乘って



社名/株式会社大草建設 所在地/愛知県小牧市大字大草3690-5
代表者/大澤正美 創業/昭和63年 従業員/15名
TEL/0568 (79) 5260・0568 (79) 5206 事業所/本社
営業種別/収集運搬 中間処理 最終処分 取扱品目/汚泥、廃油、廃プラスチック、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・陶磁器くず、建設廃材、感染性産業廃棄物

います。大きいヘリですと5人6人と乗れますから、気の会った友達を連れて飛んでいます。近ごろは伊那とかによく行きます。ヘリポートの場所が決まっていますから、それに応じてコースはだいたい決まてきますけれど。実は不法投棄や野焼きなども、上からだすとすぐ見つけれらるんですよ。』

— 最後にひとことお願いします。

大澤『うちは適正処理に自信を持っています。燃やすと悪臭の出るものなども処理できる焼却炉を持っていますから、そういったものがある方はぜひ持ってきてください。』